

下記の臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および東海大学医学部長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用につきましては、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守いたします。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## レセプト情報を用いた職域でのがん検診の精度管理支援に関する研究に関する研究

### 1. 研究の対象

2020年4月1日 から 2023年3月31日 までの間に、健保組合が支援したがん検診を受診された方

### 2. 研究目的・方法

目的：がん検診は、2段階検診でまず精密検査が必要な方を決め（要精検者）、その方に詳しい検査（精密検査）を実施して、初めてがんが発見されます。従って、精密検査を受けないと意味がありません。しかしながら、現在の精検受診率は、30-50%と低く問題になっています。そこで、この研究ではレセプト情報を利用することによって、がん検診で要精検と指摘された方が、その後医療機関にて精検受診されたかを把握することを目的としています。既に精検を受診した方がわかれば、まだ、受診されていない方に健保組合から案内を出すことができるようになり、受診勧奨が円滑に行えます。

方法：この研究に使用する情報として、がん検診結果とレセプト情報から診療行為コードと薬剤コードを抽出して使用させていただきますが、健保組合の外部に氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は一切持ち出しすることはございません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：がん検診の結果

レセプト情報：レセプト病名、診療行為コード、薬剤コード

### 4. 情報の提供先・提供方法

個別の情報は、一切提供を受けません。

がん検診の要精検数、精検受診者数の提供をうけます。

### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 6. お問い合わせ先

窓 口：東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学

担当者：教授 立道昌幸

連絡先：0463-93-1121(2621) tatemichi@tokia-u.jp